

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和元年度)

調査表

施設名	林業技術センター(研修寮、森の科学館、体験の森、森林植物園、親水広場のみ)
指定管理者	公益社団法人宮崎県森林林業協会
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日(3年間)
県所管部課	環境森林部 森林経営課

1 施設利用状況

指標	R1	H30	H29	増減理由等
森の科学館入場者(単位:人)	7,009	6,961	7,774	・自主研修受入回数減少に伴い、研修受入人数が減少。 ・宿泊を伴う受講者が増加したため、研修寮利用者が増加。
主催研修参加者(単位:人)	2,155	1,779	1,789	
自主研修受入人数(単位:人)	2,052	2,238	2,018	
研修寮利用者(単位:人)	774	651	1,021	
コメント	森の科学館入場者及び主催研修参加者については、昨年度と比較し増加しているものの、自主研修受入人数は若干減少となった。研修寮利用者については、さらなる増加を図るべく、継続してPR活動を行う必要がある。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R1	H30	H29	支出	R1	H30	H29
指定管理料	26,787	26,300	24,288	人件費	20,407	19,743	18,641
利用料金収入	667	525	893	報償費	271	294	233
自主事業収入	2,925	2,500	3,066	旅費	170	183	177
雑収入	107	92	100	需用費	4,680	3,258	2,507
				役務費	801	702	700
				原材料費・その他	3,803	3,618	3,883
				租税公課費	1,940	1,645	1,600
				県への利用料金納付額	0	0	0
合計(①)	30,486	29,417	28,347	合計(②)	32,072	29,443	27,741
収支差額(①-②)	-1,586	-26	606				
コメント	今後の管理業務に必要な備品購入費(971千円)を除いてもH31の収支差額は-615千円となっていることから、業務内容の効率化による経費削減を行う必要がある。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和元年度に新たに取組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃(随時)、特別清掃(年1回ワックス)
	保守・点検	遊歩道の点検(月1回)、施設内巡回(日1回以上)
	警備	研修寮使用時夜間巡回(日3回)
	修繕	各種用具の保守・整備(常時)
	備品等管理	備品点検(年1回)
	安全対策	安全・危機管理マニュアル整備、施設内安全点検(月1回)、消防訓練(年1回)、救急救命講習会
	その他	芝刈下刈・除草・剪定・薬剤防除・施肥実施、毎月1回朝会実施
企画運営業務	サービス提供体制整備	職員接遇研修(年1回)、アンケート調査の実施(主催研修)
	イベント等ソフト面充実	年間行事案内(教育施設等各団体への働きかけ)、出前研修による施設活動のPR、HP・マスコミを利用した情報発信
	施設設備等ハード面充実	施設にちなんだクイズ等の設置、樹木名の立て札補修、遊歩道木階段の補修、身障者用トイレの補修
	その他	地域経済配慮(地元雇用 職員・作業員等臨時職員 計8名)
管理運営体制	業務に関する職員研修の実施	
コメント	施設管理等適正に実施されている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	主催研修参加者へのアンケート等
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
スタッフ対応、イベント内容等について評価が高い。	

5 総合評価

評価コメント	森の科学館の通年開館(年末年始を除く)や研修での丁寧な説明による利用者へのサービス向上に努める等、利用者満足度は非常に高く、施設管理運営については、適正に実施されている。今後も多くの県民に利用され、喜んでもらえるような施設管理運営が期待される。
今後の課題と対応	2年連続して収支差額がマイナスであることから、業務の効率化による経費削減や、一層のPR実施による利用収入の増加に努め、収支の改善を図る必要がある。